
令和7年度事業計画について

令和7年度事業計画について、一般社団法人しまね地域医療支援センター定款第40条第1項の規定により作成し、次のとおり報告する。

I. 事業計画策定に当たっての基本的な考え方

今後も増加する地域卒等出身の医師が、円滑に義務履行しながらキャリア形成できるよう、支援対象者から丁寧に聞きとり、関係機関等と連携・調整しながら支援する。

県内での研修環境を整えることで、円滑な義務履行とキャリア形成の両立と、併せて、県内で勤務する若手医師の増加を図り、県内医療の充実を目指す。

研修環境、県内医療機関等の魅力や、地域医療支援センターの取組等を、幅広くPRし、若手医師や学生の県内定着と県外からの受け入れを促進する。

II. 個別の取組

1. キャリア形成支援

- ・ 支援対象者から提出される、「私のキャリアプラン」に基づき、専任医師と事務局職員による個別面談を行い、必要に応じて関係機関との協議・調整等を実施
- ・ 島根大学入局者は、医局訪問による勤務見通し等の協議のほか、状況に応じて個別面談もを行い、医局との調整等を実施
- ・ 他大学入局者は、個別面談のほか、医局訪問を行い、制度や義務履行の理解と協力を要請
- ・ 学生の時期から卒後の県内勤務をイメージしてもらうため、島根大学医学部地域医療支援学講座と協力し、情報提供を実施

2. 研修体制充実

- ・ 研修医の資質向上を目的に、県内の臨床研修医全員を対象とした、研修会を開催
- ・ 指導医確保に向けた講習会を開催
- ・ 各地域での研修・勤務の充実を図るため、若手医師や病院が独自に企画・開催する、研修会等を支援

3. 情報発信

- ・ 県内の研修医・専攻医確保に向けて、オンラインも活用しながら説明会を開催
- ・ 研修プログラム等を紹介する動画作成支援や、県外からの病院見学旅費助成を行い、県内外へ幅広く研修内容等を周知
- ・ 研修医や医学生が、地域や病院、人(医師)と繋がるよう、SNSの活用や、医学生病院見学バスツアー等を実施

Ⅲ. 事業計画

1. 医師のキャリア形成支援事業 (3,729 千円)

しまねの地域医療に貢献する志を持った若手医師が県内で安心して研修・勤務できるようキャリア形成を支援する。

(1) 医師面談・医療機関調整事業

地域枠等医師や医学部6年生に「キャリア形成プログラム」や「キャリア形成支援基本方針」の周知を図りながら面談を行い、個々のキャリアプランの作成を支援する。

令和7年度対象者（医学部6年生を除く）：278名（令和6年度対象者：266名）

- ・地域枠等医師が、円滑な県内勤務義務の履行とキャリアアップの両立が図られるよう、きめ細かな面談や関係機関との調整等を行い、確実なキャリアプランの作成を支援する。
- ・所属する大学医局や病院に対しては、直接訪問等を行いながら、地域枠等医師の確実な県内・へき地勤務の履行、地域の医療状況に応じた人事、派遣をお願いする。
- ・地域枠等医師が勤務する病院に対し、義務履行とキャリア形成に配慮した支援をお願いする文書を送付する。

(2) キャリア形成プログラムの更新・周知

- ・専門研修プログラムの基幹施設と連携して作成した、キャリア形成プログラムの更新を行い、キャリア面談等に活用する。
- ・地域枠等の大学5年生を対象に、キャリア形成プログラムの説明会を開催し、臨床研修マッチングの前から、県内勤務義務の履行とキャリア形成を両立した将来計画を立てることができるよう支援する。
- ・地域枠等の大学1年生を対象に、早期から地域勤務をイメージしてもらうため、キャリア形成に関する支援セミナーを開催する。

2. 充実した研修体制支援事業 (46,245 千円)

県内での研修の充実に向けた取組を実施するとともに、大学や病院等が行う若手医師育成の取組や、若手医師の自主的な取組等を支援する。

(1) 若手医師等研修支援事業 (14,388 千円)

①しまね臨床研修医合同研修会

臨床研修医の医師、社会人としての意識の向上やスキルアップ、ネットワークづくり等を進めるための合同研修会を開催する。

令和7年度からは、事業効果を高めるため、従来の春期に開催する研修に加え、1年目が終わる冬期にも開催する。

②しまね専門研修プログラム橋渡し事業

専門研修やしまねでの働き方等の相談先として、指導医や先輩医師等につなぐ取組を通じて、県内で専門研修を行う医師の増加を図る。

③臨床研修環境充実支援事業

研修環境の充実を図るため、臨床研修病院が連携して行う取組を支援する。

ア 臨床研修病院連絡会

県全体の臨床研修の充実を図るため、臨床研修病院の担当医師、事務担当者が意見交換を行う連絡会を開催する（年3回）。

イ 基本的臨床能力評価試験

県内の臨床研修医の研修目標到達度を客観的に評価し、各病院の研修プログラムの改善や充実に活かすため、日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）が実施する「基本的臨床能力評価試験」受験費用を支援する。

ウ 若手医師自主企画応援助成

しまねで活躍する若手医師の自主的・先駆的な活動の経費を助成し、若手医師のスキルアップや横断的なネットワーク構築を促進する。

（2）指導医等研修支援事業 （19,240千円）

①指導医講習会

県内の臨床研修の充実のため、厚生労働省の「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を開催し、県内指導医の養成・確保を図る。

令和7年度は集合形式（一部オンライン）で1回開催予定（11月。出雲市内）

②研修・指導体制充実強化事業

若手医師の県内定着に繋げるため、病院の研修・指導体制の充実強化を目的とした取組を支援する。

特に勤務医師実態調査における充足率の低い診療科等へは、事業企画の段階からサポートを実施し、事業の活用を支援する。

③地域交流会支援事業

地元と地域枠等医師、医学生等のつながりを確保・促進するため、市町村等が行う交流会の開催経費を支援する。

（3）研修ネットワーク支援事業 （12,617千円）

県内で総合診療専門医や精神科医等の育成のための県内ネットワークを構築し、研修体制の充実を図る。

①総合診療専門医育成ネットワーク事業（島根大学地域医療支援学講座に委託）

- ・各医療機関間のネットワークづくり
- ・総合診療専門医育成のためのプログラム作成・指導体制の整備支援 等
- ・医療機関・医師会・行政等と連携した総合診療専門医についての普及啓発

②精神科医キャリアアップ支援ネットワーク事業

- ・精神科医キャリアアップ研修会等の開催
- ・短期研修参加経費の助成
- ・情報発信

③産科医育成ネットワーク事業（島根大学産婦人科講座に委託）

- ・関係機関による産科医のネットワークづくり
- ・周産期医療を志す医学生や研修医の見学旅費支援や、学会等参加負担金・旅費の助成
- ・情報発信

3. 研修医確保に向けた情報発信事業 (21,295 千円)

島根大学医学部や島根県出身等で県外の大学に在籍している学生や臨床研修医等に対して、多様な媒体を活用して、島根県の研修プログラムの魅力や若手医師の応援体制等をPRする。

(1) 県内病院合同説明会等開催事業 (3,352 千円)

①臨床研修病院合同説明会

島根大学医学生や県外の医学生を対象に、県内の臨床研修病院が一堂に会して臨床研修プログラムや指導体制をPRする合同説明会を開催

- ・令和7年6月 WEB説明会(予定)
- ・令和7年12月 対面説明会(予定)

②しまね専門研修プログラム合同説明会

県内で専門研修を行う専攻医確保に向けて、臨床研修医等を対象に、県内の専門研修プログラムの説明会を開催

- ・令和7年7月 WEB説明会・個別型(予定)
- ・令和8年1月 WEB説明会・自由参加型(予定)

③病院見学旅費支援

県外からの臨床研修医、専攻医を増やすため、県外の医学生や医師が県内プログラム病院等を見学する際の旅費を支援(助成)

- ・医学生を対象(臨床研修医の確保)
- ・臨床研修医を対象(専攻医の確保)

④中高生医療現場体験セミナー

医療に携わる職業の重要性について理解を深め、将来の地域医療従事者を目指す者を育成するため、医療機関と連携し、中学生、高校生を対象に、医療現場体験セミナーを開催

⑤県内病院・地域見学バスツアー

県内の医学生(主に低学年)を対象に、地域の病院や病院が立地する地域を知ってもらうためのバスツアーを実施

⑥キャリア形成相談

学生が多く参加するイベントに参加し、当センターの事業をPRするとともに、専任医師によるキャリア形成相談を実施

(2) 多様なメディアを活用した情報発信事業 (17,943 千円)

島根県の研修プログラムの魅力や若手医師の応援体制等を、多様な媒体を利用して広くPRする。

①Facebook、LINE、ホームページにより、センターや大学、病院等の取組を定期的に発信

②Instagramを活用し、県内臨床研修病院の魅力を発信

③島根県臨床研修指定病院ガイドブックの発行

④支援センターマガジンの発行

⑤オリジナルグッズの制作

⑥専門研修プログラムの紹介動画の作成助成

(特に勤務医師実態調査における充足率の低い診療科等へは動画作成の直接支援を行う)

⑦島根大学医学部内のデジタルサイネージによる医学部生向け広報

⑧県内臨床研修指定病院のPR活動に係る取組支援

4. ワークライフバランスの推進 (7,540千円)

出産、育児、介護等による医師の離職防止、復職支援等の推進を図ることを目的に、県内ネットワークの構築、医療機関等の相談・支援体制の構築を図り、仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境を整備し、女性医師等のキャリアサポートを推進する（島根大学地域医療支援学講座に委託）。

(1) 復職支援体制強化事業 (5,045千円)

①相談窓口の設置

出産、育児後の女性医師等が安心して職場復帰できるための「えんネット」相談窓口設置

②復職支援プログラム作成支援

オーダーメイド型の復職支援プログラムにより、復職のために必要なサポートを実施

(2) ワークライフバランス支援体制充実事業 (2,495千円)

①情報収集・情報発信

育児や介護、地域の子育て情報など、復職に対し必要な情報を発信

②女性医師等ネットワーク形成

仕事に復帰したいと考えている女性医師等を対象にした情報交換やネットワークづくりやワークライフバランスの普及啓発等のためのセミナー等を開催

③研修会託児等支援

5. 関係機関との連携体制の構築 (1,775千円)

学生や若手医師への支援体制強化に向け、大学、病院、県、市町村等との連携推進を目的とした会議や、事業実施に係る関係者との連絡会議等を開催する。

①島根大学医学部附属病院各診療科並びに医学部関係講座との連絡協議会

支援センターの取組状況の報告や地域医療の状況、課題等に関する意見交換を行うため、月1回、大学医学部附属病院各診療科、講座との連絡協議会を開催

②圏域別市町村・医療機関への情報提供、連携の強化

支援センター職員が関係病院や市町村を直接訪問し、情報提供や地域課題の共有等を図りながら、より一体的な取組を推進

③みらいセミナーの開催

県内の病院長や地方自治体のトップを対象に、医師確保や地域医療の充実、医師のキャリア支援等をテーマとしたセミナーを開催

・開催時期：令和7年6月

・会場：出雲市内

④3者会議

・開催時期：毎月1回

・会場：島根大学医学部附属病院 みらい棟会議室

・参加者：島根県、島根大学医学部地域医療支援学講座、支援センター

⑤センター定例会の開催

・開催日：毎月2回程度

・参加者：支援センター専任医師、事務局職員等

・内容：センター事業の企画・立案、事業実施状況の報告、検証、課題等の意見交換

6. 医師不足状況等の把握・分析 (46 千円)

県内の地域医療に資する調査・研究事業を推進し、医療状況の把握・分析を行う。

- ・ 地域枠等医師の動向、派遣・配置状況
- ・ 臨床研修医の動向調査、研修状況
- ・ 県調査、国調査に基づく県内医療資源の分析 等